



心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより R4.2.28 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/> 岡村小学校で検索



悠遠

校長 川村 真弘

遙か遠くへと巣立つ子どもたちの未来を想う。素敵な人生を歩んでほしいと願う3月。人生が山道なら、まさに山あり谷あり。私は山道を歩き、分岐点に立ち行き先を迷うとき、自身が記したあるいは先人が残した道標を頼りにする。

道標

2020東京オリンピック・パラリンピック、2022北京冬季オリンピック・パラリンピック。新型コロナ感染症予防対策など。2021年度のできごとだ。その年ごとに記憶や記録に残るできごとがあるものだ。岡村小学校を卒業するみなさんには、冒頭のできごと、未来の自分が思い出す記憶のひとつとなる。

そして、そのできごとは、将来、その年を思い出すときの道標となる。何かに悩んだときの心の支えになることもある。2021岡村オリンピック、片品修学旅行、長縄記録会、なかよし集会や全校遠足、わくわくフェスティバル等々、小学校6年生を思い出すときの道標だろう。次のオリンピック・パラリンピック開催は2024年だ。その時6年生のみなさんは中学校3年生。人生は山あり谷ありの山道を歩き、道標を残しながら、時を進んでいくことだ。

道標とは、行く先を案内し、方向を示す表示だ。これからの人生の中ではきっと岐路に立つことがあるだろう。どちらへ向かえばよいのか迷うことがあるだろう。そんなとき頼りになるのが道標だ。

孔子は論語の『温故知新』の中で、過去の中に未来を知る手がかりがあるのだと解く。つまり、未来への行く先は過去の道標が教え示してくれるとも言えそうだ。悩み多ければ教え示す道標は心の支えにもなるはずだ。岡村小学校での経験や思い出が、人生の道標のひとつになってほしいと思う。卒業おめでとう。

(令和3年度卒業アルバムより一部引用)

岡村小学校教職員は、子どもたちの悠遠の未来へエールを送ります。

これからもずっと心も体も元気な岡村っ子で！

